

## 2015年度第2四半期決算説明会(2015年10月30日開催)

### 主な質疑応答の内容(要旨)

※ 説明会開催日(2015年10月30日)時点の情報に基づく内容です

#### **Q. フランス アレバNP社への出資を検討中とのことですが、概要を教えてください。**

A. フランス電力公社(EDF)、アレバ社(アレバNP社の親会社)から正式に要請を受け、アレバNP社への出資を検討しています。

当社とアレバ社は、1991年に燃料サイクル分野において合弁会社を設立、2006年には原子力事業でのより広範な協調で合意しました。その後、アレバNP社とは、合弁会社ATMEAを2007年に設立し、両社の良い技術を寄せ合わせて、次世代型PWR中型炉「ATMEA1」を開発しています。トルコのプロジェクトや、さらに次のプロジェクトへとつながっていく次世代型PWR中型炉の完成は、必要なことと考えています。

契約上の守秘義務がありますので、具体的な内容についてはお話しできませんが、投資回収は十分可能であると考えています。

#### **Q. 火力事業のPMI<sup>(注)</sup>を進める上での先行費用とはどのようなものですか？**

A. 三菱日立パワーシステムズ(MHPS)では、システム統合や制度の統一などを集中的に行っています。現在は費用計上が行っている状況ですが、こうした施策の成果を早期に出せるよう努めています。

注： PMI…Post Merger Integration (事業の合併後の統合プロセス)

#### **Q. 火力発電システム分野で、一度市場が停滞していた地域の受注が改善傾向にあるとの説明がありましたが、どのような状況でしょうか？**

A. 第2四半期に北米、東アジアでガスタービン数台の受注が内定するなど、一定の動きが出てきました。市場が比較的好調なアジアでは、競争が激化している国もありますが、当社グループの実績が評価され、受注につながっています。また、北米では毎年数台ずつ受注しています。

#### **Q. 景気減速に伴い海外の電力需要が減る可能性があると思いますが、MHIグループにとってリスクになり得ますか？**

A. 世界には根本的に電力供給能力が不足している国も多く、景気減速による電力需要減少が当社事業に大きな影響を与える印象はありません。むしろ、気にしているのは景気減速に伴い世界的な資金の流れが滞ることです。例えば、新興国向けの新規受注獲得が難しくことなどが想定されます。

以上